

龍神けいすけ 活動 / 議会レポート

Vol. 10 | 2022年12月議会

政策に対する考えを発信していきます。
みなさんのご意見ご要望
お待ちしております！

未来に
種を蒔こう！



活動 報告

津市の県政への要望に関しての考え

■ 津駅周辺道路空間

概要：津駅周辺の整備については、令和2年5月の道路法改正をきっかけとして、民間との連携や歩行者中心の空間の構築など検討が開始されました。県に対しては、東西の空間再編にむけて、国とさらに連携をとって進めてほしいとの要望を出しています。県は、令和3年に「津駅周辺道路空間検討委員会」国・市と意見交換を行い、「津駅周辺道路空間の整備方針」を策定、その具体化にむけて検討委員会を立ち上げ、10月には、歩道空間の拡張による賑わい創出を目指して、社会実験を実施しました。整備方針の具体化に向けて、引き続き、国・県・市の三者で緊密に連携し、取組を進めていくとのことです。

見解：① 東口のにぎわいの創出 ② 西口ロータリーの渋滞解消が柱になると考えます。中心となる市街地が市内に分散していることもありますが、他府県の県庁所在地のターミナル駅周辺と比べると、津駅前の現状は少しさびしいものとなっています。地域の活力云々ではなく構造的なものととらえ、行政の手を加えていく必要があります。実験にあったような道路空間の利活用もいいですが、古くなった駅ビルと道路空間の再編を中心とした取組も望まれます。



■ 自治体DX

概要：津市のDX体制の推進については、私もこれまでに議会で数々の質問をしてきました。昨年の4月からは自治体DX推進会議が発足するなど、全庁的に取組が進んでいく気配が見えています。12月議会においても、オンライン手続拡充に向けた議案「津市情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例」が議決されました。またその後、「いつでもオンライン申請」の開始がアナウンスされました（裏面参照）。県と市のデジタル技術の共同利用、共同導入においてスケールメリットを活かすこと、また、県下のデジタル社会形成に「みえDXセンター」が中心となって取組を推進することを津市は要望しています。

見解：三重県におけるDXは比較的進んでいる印象があります。デジタル社会推進局の下に3つの課を設置、また、常勤のデジタル担当者を民間から招聘し、「あったかいDX」を掲げ、すべての人がデジタル社会の恩恵を受ける環境を作ることを目指しています。まずは、利便性向上と行政の効率化の全力を注ぐべきです。オンライン手続の拡充と、基幹システム外の様々なツールの導入など、「こうしたらもっと効率的に仕事ができるのに」といったアイデアを、縦割りの弊害、資金的な障害、そして前例踏襲を破って実現していく。仕事のかたちが変わり、本当に注力しなければならないセクションにマンパワーをさくことがDXの本質です。県はそれを包括的に先陣を切って行う必要があります。CDOのみならず民間の力をもっと活用するべき余地があるのではないかと私は考えます。



■ 人口減少対策

概要：令和4年5月に「津市人口減少対策会議」を設置し取組を進めている津市ですが、県では人口減少対策課が設置され、人口減少の対策方針を策定することとです。自然減については結婚・妊娠・出産への支援をはじめ、子育て支援などの施策を県においても強力に推進することを要望しています。一方で、社会減に向けた取組は、雇用の拡大や教育の充実、インフラ整備などの施策を県全体で進めることを要望しています。

見解：人口減少の理由は多くの要素にがからんでおり、これだ！という明確な答えというものはなかなか見つからず、様々な政策をミックスして進めないといけません。国単位でみれば、自然減に対する根本的な対策がとれるかもしれませんが（それもうまくいっていないのが現実です）、現実的に考えれば、自治体単位としては、たとえゼロサムゲームになったとしても、社会減に焦点を当てざるを得ないのが現状であると思います。良好な教育環境と子育て環境をつくり、そのための資金的な補助をすること、そして経済的にも文化的にも魅力的な都市をつくる政策をコツコツ積み重ねるしかありません。

市政
報告

子育て支援事業 / オンライン申請について

■ 子育て支援事業

◎ 制度の概要

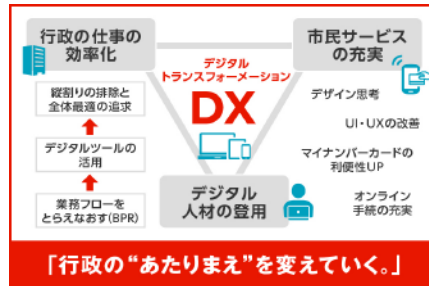
国の「出産・子育て応援交付金事業」を活用し、妊娠や出産に際しての経済的支援として現金給付を行います。対象は、今年4月以降に出産した人で、市に妊娠の届け出を申請すると口座に5万円が振り込まれ、さらに出産後に出生届を提出すると、子ども1人につき5万円が再び給付されます。なお、経過措置として令和4年4月1日から事業開始前に出産した人に対しては10万円相当が一括支給されます。また、経済的支援に加え、出産育児の相談に応じる伴走型支援の拡充を行います。

★問い合わせ：健康福祉部 こども支援課
☎：059-229-3284 FAX：059-229-3451

■ いつでもオンライン申請

◎ 制度の概要

以前より議会で取り上げてきたオンライン申請の拡充ですが、この度「いつでもオンライン申請」と題するサービスができ、スマートフォン等のできるオンライン申請の数が増えることになりました。現状は公共施設予約や新型コロナワクチン接種予約



などに限られていますが、2月1日より様々な分野のオンライン申請手続きができるようになります。また、2月6日以降、転出転入手続や子育て・介護関係のオンライン申請も順次拡充され、3月20日までに112の手続がオンラインでできるようになります。

◎ 利用方法（2月1日～）

- ① パソコンやスマートフォンから津市のホームページにアクセス
 - ② 津市ホームページ上にある「いつでもオンライン申請」にアクセスする
 - ③ カテゴリやキーワードで使用する手続きを検索する
 - ④ 利用したい手続の申請ボタンを押す
- ※ マイナンバーカードが必要な手続きもあります

市政
報告

スポーツ施設整備計画について

津市の今後のスポーツ施設のあり方、整備の方向性に関する令和4年度から令和11年までの計画が正式に策定されました。スポーツ政策を所管する総務財政委員会などの審議のなかで、これまでに、特に屋内運動施設の空調整備について質問してきましたが、その点についても方向性が示されたので、あわせて報告します。

■ ニーズと公共施設マネジメント

市民のスポーツ参加、また競技スポーツにおける場所の確保は常に課題で、その機能が不足している施設については補完する対策や新規整備の必要性があります。一方

で、少子高齢化、施設の維持費等を考えるといわずに施設を作ったり、機能向上を図ることは公共施設マネジメントの観点から好ましくありません。利用者の理解を得るというプロセスを経て、既存施設の有効活用や、廃止、または民間の力を活用することを含めて考えていく必要があります。

■ 具体的な施設整備の一部の抜粋

◎ 空調整備について

「施設規模や立地条件を勘案し、サオリーナを補完する体育館として、久居体育館、芸濃総合文化センター内アリーナ、安濃中央総合公園内体育館及び一志体育館を位置づけ、大会活動から日常活動における利用

施設として、計画的な保全に努めつつ、必要な施設の改修や空調設備の整備を実施し、機能の向上を図る。」（計画本文より筆者抜粋）
具体的な日程については未定の様です。



補完する体育館のひとつ、久居体育館



龍神啓介プロフィール

1987年4月11日生まれ。三重大学附属小中、津高校、慶應義塾大学法学部卒業。証券会社、アルバイト、政治家秘書を経て、2018年執行の津市議会議員選挙で初当選。「未来に種を蒔こう!」をキャッチフレーズに、個別最適化された教育、スポーツ文化の充実、自治体DXなどを旨として政策調査、政治活動を行っています。

お問い合わせ先

龍神けいすけ後援会

514-1113

津市久居野村町874-28（自宅）

Tel/Fax：059-256-1509

E-mail：info@keisukeryujin.com

HP：keisukeryujin.com

HPやSNSで発信しています!

HP



Twitter
@kskrjn



facebook

